

## 2012 年度図学会秋季大会プログラム

このプログラムは、変更になることもありますので、直前に学会ホームページで御確認ください。

### 2012 年度秋季大会の参加登録を必ずお願いいたします

お手数ですが、秋季大会で論文発表及び参加予定の方は、下記のフォーマットで参加申し込みをお願いいたします。申し込み情報は、conf2012au@graphicscience.jp 宛に、2012 年 12 月 5 日(水)正午までにお送り下さい。メールの件名は、「図学会秋季大会参加申込（お名前）」でお願いいたします。

#### 参加登録情報フォーマット

(1) 氏名

(2) 勤務先（所属）

(3) 電話番号

(4) 電子メールアドレス

(5) 研究発表講演会に      参加   不参加←どちらかをお選びください

(6) 懇親会に                      参加   不参加←どちらかをお選びください(社会人 5,000 円、学生 3,000 円 を予定)

なお、参加申し込みは参加される方 1 名ずつ必要となります。論文発表する、しないに関わらず、お手数ですが参加登録をお願い致します。

また、学会員以外の発表予定の方や、学生さんなど聴講予定で学会員以外の方がいらっしゃいましたら、関連の方よりお知らせ頂ければ幸いです。

#### 開催日

開催日：2012 年 12 月 15 日（土）、16 日（日）

16 日（日）13:30 より第 49 回図学教育研究会が開催されます。

#### 大会プログラム

12月15日(土)

12:00～ 受付

12:30～13:00 開会式・記念撮影

13:00～14:45 講演発表 5件×2セッション

15:00～16:25 講演発表 4件×2セッション

16:40～18:00 講演発表 4件×2セッション

18:30～20:30 懇親会

12月16日(日)

9:00～10:20 講演発表 4件×2セッション

10:35～12:15 講演発表 5件×2セッション

12:15～13:30 昼食

13:30～15:30 図学教育研究会 テーマ：「実務者と職業能力開発  
大学における(機械)設計製図の現状と課題」

## 学術講演プログラム

12月15日(土)	第一会場	第二会場
13:00～14:45	セッション1 分析と表現	セッション2:空間と評価
15:00～16:25	セッション3:幾何学と教育	セッション4:図と空間
16:40～18:00	セッション5:インタラクション	セッション6:モーション
12月16日(日)	第一会場	第二会場
9:00～10:20	セッション7:建築と図	セッション8:図学基礎
10:35～12:15	セッション9:建築と空間	セッション10:形をつくる

12月15日(土)

セッション1:分析と表現 座長:今間俊博先生(首都大学東京)(第1会場  
/13:00～14:45)

1) 既存キャラクター分析に基づく映像コンテンツ原案制作手法の提案

茂木龍太、菅野太介、三上浩司、近藤邦雄(東京工科大学)

2) 絵画作品を鑑賞する行為の撮影とその映像の解析

成 知根、張 冠文、加藤ジェーン、茂登山 清文(名古屋大学)

3) CGによる絵画表現のための散点透視の分析とその描画手法

李 磊、三上浩司、柿本正憲、近藤邦雄(東京工科大学)

4) マルコフ確率場モデルを用いた単眼視画像からのブロックワールドの再構成

谷井大地、滝沢穂高(筑波大学)

5) CG実写合成のための階調変換手法

高橋 信雄、茂登山 清文、安田 孝美(名古屋大学)

セッション2：空間と評価 座長：椎名久美子先生(大学入試センター) (第2会場/13:00~14:45)

6) 児童、生徒の空間認識力調査 一切断面実形視テストの得点について-

堤江美子、本郷健、矢野博之(大妻女子大学)、山本利一(埼玉大学)、鈴木賢次郎(大学評価・学位授与機構)

7) 立体デザインの作成イメージと作成物の差分についての定量的評価方法の開発

大谷智子(東京大学)、丸谷和史(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

8) 空間イマジネーションテストと方向把握問題の関連性

阿部浩和(大阪大学)

9) 図形認識時における脳前頭前野の賦活域

西原小百合、西原一嘉(大阪電気通信大学)

10) ウォークスルーシステムを用いた動的空間の定量化に関する研究-isovist理論の視角範囲を限定した垂直視野への展開として-

山出翔太、安福健祐、阿部浩和(大阪大学)

セッション3：幾何学と教育 座長：安福健祐先生(大阪大学) (第1会場/15:00~16:25)

11) 図法幾何学と解析幾何学を取り混ぜた授業の試み

長島 忍(立教大学)

12) 図法幾何学演習問題のインタラクティブ生成システム

島田祐、長谷川大、佐久田博司(青山学院大学)

13) 面数が16以下の非凸デルタ多面体の数え上げ

鶴田直也(筑波大学)、三谷純(筑波大学/ERATO)、金森由博、福井幸男(筑波大学)

14) Webページの表現と伝達について-学習と課題

山島一浩(筑波学院大学)

セッション 4: 図と空間 座長: 村松俊夫先生 (山梨大学) (第 2 会場 / 15:00 ~ 16:25)

15) Visual Analysis of Wayang Beber Pacitan Painting

Banung GRAHITA, Toshihiro KOMMA, Kumiko KUSHIYAMA (Tokyo Metropolitan University)

16) 図が示すもの

藤原史江(不二工房)

17) 平治物語絵巻に描かれた車輪形状の幾何学的解析に基づく一考察

大月彩香、竹之内和樹 (九州大学)

18) キュビズム空間と時間 -アレキサンダー・アーキペンコの彫刻作品から-

福江良純

セッション 5: インタラクション 座長: 山島一浩先生 (筑波学院大学) (第 1 会場 / 16:40 ~ 18:00)

19) Step-by-step folding sequences from origami crease patterns using graph rewriting

Hugo AKITAYA(University of Tsukuba), Jun MITANI(University of Tsukuba, JST ERATO), Yoshihiro KANAMORI, Yukio FUKUI(University of Tsukuba)

20) 水生生物を題材とした帽子制作キットのデザイン検討

高橋里奈 (東京工科大学)、齊藤麻奈美 (新江ノ島水族館)

21) 博物館と美術館の連携による新たなミュージアムの試み

伏見清香、趙領逸 (広島国際学院大学)、Christa Sommerer、Laurent Mignonneau (University of Art and Industrial Design Linz)、足立守 (名古屋大学博物館)

22) コンピュータ上での箱庭療法の実装に向けた表現方法の検討

野村 浩毅 (東京工科大学)、桑原 明栄子 (中央大学)、佐々木 和郎 (東京工科大学)

セッション 6: モーション 座長: 長島忍先生 (立教大学) (第 2 会場 / 16:40 ~ 18:00)

23) 大規模集客施設における群集行列シミュレーション

安福健祐 (大阪大学)

24) 流し撮りに関する図学的考察

宮腰直幸(八戸工業大)

25) 日本式アニメにおける動きのパターン分類 (副題: モーション変換における動きのパターン)

今間俊博（首都大学東京）、齋藤隆文（東京農工大学）

26) 奇数スフェリコンの構造を応用した往復運動するオブジェの試作－頂角  $60^\circ$  の正円錐による「Tri-sphericon」－

村松俊夫(山梨大学)

12月16日(日)

セッション7：建築と図 座長：奈尾信英先生（東京大学）（第1会場／9:00～10:20）

27) 「規則」から「遊動」へール・コルビュジエの絵画と建築

加藤道夫（東京大学）

28) チャンディガール合同庁舎の立面構成に関する考察

石井翔大、安藤直見(法政大学)

29) 建築家による外観透視図の添景に込められた観念

種田元晴（東洋大学）

30) アメリカの造園家による環境デザインに関する研究

関龍一、安藤直見(法政大学)

セッション8：図学基礎 座長：鈴木広隆先生（神戸大学）（第2会場／9:00～10:20）

31) 任意の二円と交わる3直線の定理 と 任意の三円と交わる2直線の定理

蛭子井博孝(卵形線研究センター)

32) 作図による左右両画像間で垂直視差のある立体視画像の融合位置に関する一考察

吉田勝行(大阪大学)

33) ホーエンベルグの再構成法（透視図逆変換）の研究（続き）

西原一嘉、西原小百合（大阪電気通信大学）

34) ベクトル空間幾何学によるCG図学の模型製作への応用 — 表計算ソフトウェアによる図形科学の応用技術（1） —

田城徽雄（北海道情報大学）

セッション9：建築と空間 座長：加藤道夫先生（東京大学）（第1会場／10:35～12:15）

35) ロダン彫刻における立体感と力学的背景 —ゴシック建築の支柱と割形の表面形状—

櫻井俊明（いわき明星大学）

36) 遷り変わる町並みに関する研究

市野達也、安藤直見（法政大学）

37) 東京都における駅の歩行空間の多様性に関する研究

赤松卓明、安藤直見(法政大学)

38) 都市空間としてのサッカースタジアム

石澤悠、安藤直見、田代ゆき子（法政大学）

39) 透視図法における「奥行き」に関する数学的・空間的解釈について

奈尾信英（東京大学）

セッション 10:形をつくる 座長:佐藤尚(神奈川工科大学) (第2会場/10:35  
~12:15)

40) 平面曲線を導線とする柱面の組み合わせによる形状の設計法に関する考察

鈴木広隆(大阪市立大学)

41) ずれを考慮したカッティングプロッタにおける経路計画法

中島健次郎(筑波大学)、三谷純(筑波大学,JST ERATO)、金森由博、福井幸男(筑波大学)

42) 3D スキャナとゲームエンジンを利用したデジタルワークショップの提案

杉本 光啓、鈴木 浩、佐藤 尚、菅 直樹（神奈川工科大学）

43) 三角形を組み合わせる人物造形の試み

水野博之(日本総合ビジネス専門学校)

44) 三次元単独図の属性情報に関する考察 -表面性状の指示(図示)方法について-

平野 重雄（東京都市大学, (株)アルトナー）、喜瀬 晋, 関口 相三, 奥坂 一也（(株)アルトナー）